

平成 25 (2013) 年度国際交流センター春季語学研修について

国際交流センターでは、平成 25 年度春季休業期間中に、イギリスと台湾の協定校で英語研修及び中国語研修を実施しました。

【英語研修 (イギリス・エディンバラ大学)】

渡航期間：2月19日～3月13日
 研修先：エディンバラ大学
 滞在方法：ホームステイ
 研修内容：本学生のためにデザインされた英語レッスンの受講。また、研修中は、協定校の学生がメンターとして授業等に参加。

【中国語研修 (台湾・淡江大学)】

渡航期間：2月23日～3月9日
 研修先：淡江大学
 滞在方法：淡江大学が用意した寮
 研修内容：初級から上級のクラス分けによる中国語の授業、現地学生との交流、及び、歴史的寺院や博物館見学等。



(参加者からの感想)

「研修を通して、自分自身の英語に対する課題が明確になりました。今後、学習意欲を維持し続ける上での良いきっかけになるのではないかと思います。」

教育学科 2年 古川光



※平成 25 年度夏季休業中には、英語、韓国語、及びスペイン語研修を、それぞれ協定校にて実施しました。平成 25 年度内の語学研修参加者による報告書は、当センター内での閲覧が可能です。

■協定留学プログラム派遣学生募集

本年度の5月上旬、2015年度第1期協定留学プログラム(留学期間：2015年4月～翌年3月/派遣先：アジア・オセアニア)の募集を行います。募集要項は国際交流センターホームページ、G-Port、及び掲示等で公示しますので、確認してください。

なお当センターにて、本プログラムにより派遣した先輩方の留学体験記を閲覧できますので、応募にあたってはそちらも参考にしてみてください。

■海外留学のための奨学金制度について

本学では、留学に伴う経済的負担を軽減し、少しでも多くの学生に留学を経験してもらうことを目的として、「学習院大学海外留学奨学金・奨励金」という制度を設けています。

学習院大学海外留学奨学金

応募条件：「留学願」が承認されている者、又は承認されることが見込まれる者
 奨学金額：1名につき50万円以内(給付)
 募集人数：年20名程度(平成25年度採用実績36名)
 募集時期：年2回(12・6月)

学習院大学海外留学奨励金

給付条件：「海外留学奨学金」受給者のうち、特に優秀な者
 奨励金額：1名につき10万円以内(給付)
 採用人数：年10名程度(平成25年度採用実績12名)

平成26年度に留学を開始する方を対象とした第2回目の募集(上記「募集時期」6月の回)については、募集要項を5月に当センターホームページ、G-Port、及び掲示等で公示する予定です(平成26年度第1回目の募集は終了しました)。

また、10月頃には、平成27年度第1回目(上記「募集時期」12月の回)

の募集を開始する予定です。

なお、本奨学金を受給した先輩方の留学体験記(協定留学・協定外留学)が、当センターにて閲覧できます。

TOEFL / IELTS 受験の助成 (新規制度)

応募条件：TOEFL 又は IELTS を受験した者
 助成金額：一人につき1万円以内(給付)
 募集人数：50名以内
 募集時期：年2回(6月、12月)

【その他奨学金・助成】

・学習院大学海外短期語学研修奨学金
 ・大学院学生の国外における研究発表援助

※募集内容や応募条件等については、当センターホームページ等で確認してください。
 ※なお、平成25年度まで実施していた海外ボランティア活動奨励金は廃止となりました。

■平成 26 年度 留学フェアのお知らせ

国際交流センターでは、年2回、留学や国際交流に関心がある学生が気軽に話を聞き、相談が出来るよう、「留学フェア」を開催しています。フェア期間中は、お昼休みの時間を利用して、英語圏の留学に必要な

TOEFL の説明会、本学協定校からの留学生とのチャットタイム、及び、海外協定校での留学体験者による留学相談タイム等、自由に参加できる催しとなっています。

本年度第1回留学フェアは、5月に開催予定です。フェアの詳細については、当センターホームページ、G-Port、及び掲示で公示します。



《平成 25 年度第 2 回留学フェアの様子》

Centre for International Exchange Gakushuin University
 学習院大学国際交流センター

News letter

April 1
 2014
 Vol.33

※表紙の写真 平成 25 年度秋協定留学生のみなさん(平成 25 年 10 月 17 日 留学生バス旅行にて撮影)

海外協定校と新規締結

学習院大学では、平成 25 年度、フランス 1 校、台湾 1 校、タイ 1 校、アメリカ 1 校、の合計 4 校と新たに交流協定を締結しました。また、現在フランス 1 校、中国 1 校との交流協定の締結も最終段階に入っており、2014 年度内には締結される予定です。これを機に、本学の国際化が、ますます発展していくことが期待されます。

●パリ第七大学 (フランス)

Université de Paris Diderot-Paris 7

パリ大学は、フランス共和国のパリ、クレイユ及びベルサイユの3大学区にある13の大学の総称で、第七大学は、パリのセーヌ左岸にキャンパスをもつ、1970年に設立された総合大学です。その研究レベルの高さは、すべての分野において、世界的な評価を得ています。また、国際交流も盛んで、全学生数のうち、20%は留学生が占めています。

創立：1970年 所在地：フランス パリ市 学生：約26,000人
 学部：芸術・文学・言語分野、法律・経済・経営分野、人文社会科学分野、理学・工学・保健衛生学分野

●淡江大学 (台湾) Tamkang University

淡江大学は、台湾の新北市に本部を置く私立総合大学です。4つのキャンパスをもつ同大学には、8つの学部が置かれ、約27,000人以上の学生と1,500人以上の教授陣を擁しています。29カ国159大学と学術協定を締結しており、英語での授業を台湾で最も多く開講している大学の一つであるため、英語による留学が可能です。

創立：1950年 所在地：台湾 新北市、台北市、宜蘭県 学生：約27,000人
 学部：文学部、理学部、工学部、商学管理科学部、外国語文学部、国際研究学部、教育学部等

●アサンプション大学 (タイ)

Assumption University

アサンプション大学は、タイのバンコク市内に広大なキャンパスを持つ、私立大学です。緑豊かなキャンパスの敷地内には、チャペルや学生寮といった施設がおかれ、「公園の中の大学」と評される環境を有しています。

同大学では、ほぼ全ての授業を英語で行っており、英語による留学が可能となります。また、同大学は日本語の専攻を有しており、日本との相互交流がより一層見込まれます。

創立：1969年 所在地：タイ バンコク市他 学生：19,870人
 学部：芸術、音楽、科学技術、エンジニア、法、バイオテクノロジー等

●オハイオ・ウェスレヤン大学 (アメリカ)

Ohio Wesleyan University

同大学は、オハイオ州デラウェアに所在する私立大学で、リベラルアーツカレッジとして高い評価を得ています。また、中規模大学ながら、在籍する学生の国籍は37か国以上に上るなど、国際色豊かな大学です。

創立：1842年 所在地：アメリカ オハイオ州デラウェア市 学生：約2,000人
 学部：社会科学部、教育学部、文学部、外国語学部、ビジュアル・パフォーマンスアーツ学部等

*現在、リヨン政治学院(フランス)及び北京郵電大学(中国)と大学間協定締結に向けた最終調整に入っており、2014年度内に締結される予定です。



【世界に広がる、学習院大学の協定校】(平成 26(2014)年 4 月現在)

※赤字は平成 26(2014)年度協定プログラム派遣対象校です。

News letter

April 1
 2014
 Vol.33

発行日 / 2014 年 4 月 1 日
 編集・発行 / 学習院大学国際交流センター

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1
 TEL.03-5992-1024 FAX.03-5992-1025
 http://www.gakushuin.ac.jp/univ/cie/
 (「学習院 CIE」などで検索してもヒットします)

【編集後記】

今号では、平成 25 年度第 2 学期中に、国際交流センターで実施した留学生行事についてお知らせしました。当センターでは、今後も、留学生を対象としたさまざまなイベントを主催していく予定です。それらのイベントが、本学で学ぶ留学生だけでなく、高等科の留学生や、国際交流を深めたい日本人学生が、楽しく交わりながら、お互いの文化について学び合えるような場となるよう、願っています。また、当センターでは、留学生イベントや活動に、協力してくれるセンターボランティアも随時募集していますので、関心がある方は登録をお勧めします。国際交流に関心がある皆さん、そして自分もいつか留学を目指してみたいという皆さん、ぜひ当センターに足を運んでみてはいかがでしょうか。

【平成 26 年度国際交流センター運営委員】

所長 水野 謙 (法学部)
 運営委員 小塚 荘一郎 (法学部)
 〃 細野 薫 (経済学部)
 〃 金田 智子 (文学部)
 〃 桂 法称 (理学部)
 〃 荒川 一郎 (副学長)
 〃 常岡 孝好 (学生センター所長)
 〃 宮澤 文玄 (国際交流センター課長)

平成 26 年度基礎教養科目の開講

国際交流センターでは、本年度より、基礎教養科目「英語で学ぶ日本事情」及び、「海外語学研修」を開講します。留学を考える学生の皆さん、そして語学研修での単位修得を目指す皆さんにとって、またとない機会となるでしょう。

●「英語で学ぶ日本事情—Introduction to Japanese Culture, Society, and Scientific Research」

本講座では、日本の文化、社会、そして科学等の多彩な分野について、英語で授業を受けることができます。主に、本学の海外協定校からの留学生及び一部の私費留学生を受講の対象としていますが、海外協定校への留学が予定されている日本人学生にもお勧めです。

日本人学生にとっては、留学生とともに英語での授業に参加することで、語学力向上のみならず、日本の諸分野への理解を深め、海外で日本について紹介できる知識を身に付けられることが期待されます。

●「海外語学研修」

本講座では、夏季に行われる国際交流センター主催の「海外語学研修」に参加し、海外の言語・文化・社会等について学ぶことで、実践的なコミュニケーションのスキルと適応力を身に付けます。事前・事後研修もあり、研修の体験をより学び多いものにすることが出来ます。

また、本授業で指定する当センター主催の「海外語学研修」は、平成 26 年度については、夏季休業中に行われる英語研修とスペイン語研修を予定しています。

IELTS™ 対策コース及び e-learning による TOEFL® 対策コースについて

国際交流センターでは、本年度より、英語圏への留学を目指す学生の支援として、IELTS 対策コース、及び TOEFL 対策講座を開講しました。

講座・コース名	内容	メリット
IELTS 対策コース	分野別に分かれたオムニバス形式の対策講座	ネイティブの講師による直接指導を受けられる
TOEFL 対策講座	e-learning (インターネットのプログラム) を使った学習システム	自宅等学外からもインターネット環境があれば、自由に受講が可能

両講座の詳細は、4 月以降、当センターホームページ、G-Port、及び掲示等で公示しますので、確認してください。

国際交流センターボランティア対象 短期ホームステイ制度について

国際交流センターでは、平成 26 年度より、当センターでボランティア登録をしている学生を対象に、本学の協定留学生の「短期ホストファミリー」を募集します。

本制度は、春夏の長期休業期間中に、約一週間、協定留学生をホストファミリーとして受け入れ、彼らの日本理解を支援しながら、国際交流を深めるプログラムです。

応募資格は、当センターでボランティア登録を行っていること、また、募集時に公示する応募要件を満たす学生に限ります。

なお、この制度の参加者は、「学習院大学ボランティア短期ホームステイ活動奨励金」(平成 26 年度新規制度)の対象となります。

詳細については、4 月以降、当センターホームページ、G-Port、及び掲示で公示しますので、確認してください。

10 月 留学生バス旅行の実施

平成 25 年 10 月 17 日(木)に、山梨県、富士方面へ留学生バス旅行を実施しました。バス旅行には、本学の留学生 40 名、高等科留学生 2 名、及びセンタースタッフ 2 名の計 44 名が参加しました。

今回は、25 年度世界文化遺産に登録された富士山周辺の散策を通じ、富士山の魅力に触れ、また、山梨県立富士ビジターセンターで、富士山の歴史と地理について学びました。

午後には、山梨を代表する特産物を知るため、ぶどう狩りを体験しました。日本のぶどうについて、留学生たちは、「自分の国のものと違っています」「いろんな種類がありますね」と語ってくれました。



《富士山 5 合目で記念写真》

12 月 留学生文楽鑑賞教室の実施

平成 25 年 12 月 7 日(土)に、留学生文楽鑑賞教室を実施しました。本学留学生 17 名、高等科の留学生 2 名、及び国際交流センターボランティアの日本人学生 4 名が参加しました。

今回は、演目「団子売り」と「菅原伝授手習鑑」を鑑賞しました。上演中はイヤホンガイドを通じて、演目についての詳しい説明を聞くことができました。

参加した留学生たちからは、表情の細部まで表す人形遣いの技術への感嘆の声が聞かれました。



《当センターのボランティア学生が留学生の入場受付を行いました》

1 月 留学生書道体験教室の実施

平成 26 年 1 月 22 日(水)に、留学生書道体験教室を実施しました。体験教室では、本学の書道部員が、指導ボランティアとして留学生への書道指導を行いました。

体験教室には、本学の留学生 12 名、高等科の留学生 2 名、及び本年度協定留学に出発予定の日本人学生 3 名の計 17 名が参加しました。また、国際交流センターボランティアの日本人学生も協力してくれました。

留学生の多くが、書道は未経験でしたが、体験教室が始まると、書道部員の実演に見入り、初めての墨造りにも真剣に取り組みました。

書道部の手本を元に書き始めた留学生たちは、慣れない毛筆に苦心していましたが、書道部員や、ボランティア学生たちにアシストして

もらい練習するうち、あちこちで「できた」と、嬉しそうな声が聞かれました。

教室の最後には、それぞれが選んだ文字を色紙に清書しました。留学生たちの作品は、当センター前に掲示されています。



《書道部員のお手本を見つめます》



《いろんな文字に挑戦！》



《高等科留学生も真剣です》

『私はずっと書道を一度やってみたいと思っていました。今回、国際交流センターで「書道体験教室」に参加することができたのは、本当に素晴らしい機会でした。実際にやってみると、書道は思ったより難しかったのですが、皆さんが教えてくれたおかげで少し上達することができたと感じています。今回はきれいに書くことができなかったので、この留学期間中にもう一度挑戦したいと思います。』



シーフォース・クレイグエル・バジル (オックスフォード・ブルックス大学からの協定留学生)

※留学生バス旅行、文楽鑑賞教室、及び書道体験教室は、霞会館の助成により実施しました。

※第 1 学期中に国際交流センターが主催した留学生イベントについては、Newsletter Vol. 32、及び国際交流センター facebook ページでも見ることができます。

平成 26 年 (2014) 年度第 1 期の協定留学プログラムによる派遣学生

(留学期間：平成 26(2014)年 4 月～翌年 3 月)

派遣先大学	派遣学生
ウェリントン・ヴィクトリア大学 (ニュージーランド)	英語英米文化学科 3 年 前田 友里
ウェリントン・ヴィクトリア大学 (ニュージーランド)	経済学科 4 年 内田 千春
東国大学校 (韓国)	政治学科 2 年 阿部 未沙子

平成 26 年 (2014) 年度第 1 期の協定留学プログラムによる派遣学生から一言

(4 月よりウェリントン・ヴィクトリア大学に留学)

「私が協定留学を目指す上で最も大変だったのは、TOEFL で規定のスコアを獲得することでした。今留学を考えている方で、この試験に悩まされている方も多いのではないのでしょうか。確かに TOEFL は他の英語試験と形式が異なり、難易度も高く、私も最初は戸惑いました。しかし今は、TOEFL で培った英語力は、その後の留学生活で役立つものだと思います。内容が、大学の講義や実際に大学生活で用いられる会話表現等、留学を想定したものだからです。留学のための勉強だと自覚し取り組むと、やる気も持続するでしょう。協定留学生になるまでの道のりは大変ですが、学習院大学の代表として留学することは大きな強みだと思います。頑張ってください。」

(経済学科 4 年 内田千春)

海外協定校からの留学生紹介

平成 26 年 (2014) 4 月より、学習院大学での留学を開始した協定校からの留学生を紹介します。

協定校	氏名	学習院での所属	留学期間
北京外国語大学 (中国)	凌 謨嘉 (リョウ モカ)	日本語 日本文学科	1 年周
北京外国語大学 (中国)	周 建豊 (シュウ ケンホウ)	史学科	1 年周
東国大学校 (韓国)	李 康熙 (リ カンヒ)	経営学科	1 年周
東国大学校 (韓国)	朴 貞垠 (パク チョンウン)	日本語 日本文学科	1 年周
チュロンコン大学 (タイ)	KOSUGI, YADA (コスギ ヤーダー)	日本語 日本文学科	1 年周
オーストラリア国立大学 (オーストラリア)	DELANY, MARCEL FRANCIS (デラニー マーセル フランシス)	法学科	1 年周
オーストラリア国立大学 (オーストラリア)	IDLE, FELIX CARMENT (アイドル フィリックス カーメント)	日本語 日本文学科	1 年周
ウェリントン・ヴィクトリア大学 (ニュージーランド)	MINGARD, JONATHAN CHRISTOPHER (ミンガード ジョナサン クリストファー)	日本語 日本文学科	1 年周

※国際交流センターでは、4 月に留学を開始した協定留学生及び入学した私費留学生の歓迎として、留学生懇親会を 4 月下旬に開催します。